

WAKU WAKU?

“2005/2期中間決算報告”及び  
“合併による統合効果と新3ヵ年計画について”

CircleK Sunkus



株式会社 サークルKサンクス

(証券コード:3337)

代表取締役社長 土方 清  
広報IR環境室長 島田 聡

# 2005/2期中間決算報告

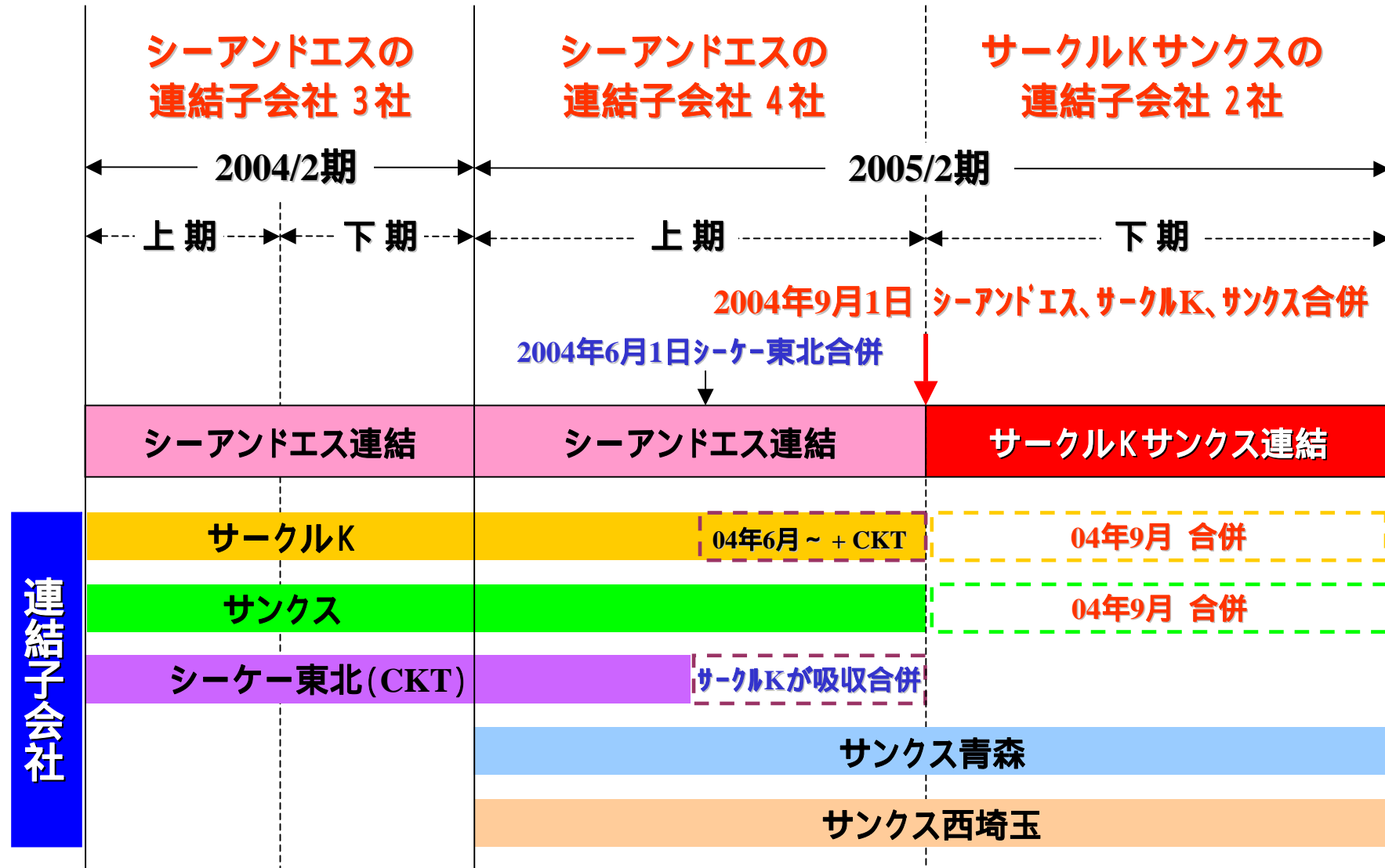
広報IR環境室長 島田 聡

## 中間決算のポイント

---

- (1) 閉店は例年並のペースに戻り、前期末比97店純増
- (2) 既存店前年比は0.1%、連結チェーン全店売上高は計画比16億円プラス
- (3) 値入率は値入の低い商品の売上構成比が増え、サークルK、サンクス共に計画比0.4%マイナス
- (4) 経費削減効果もあり、販管費は計画比14億円マイナス
- (5) 営業利益、経常利益、中間純利益共に計画比、前年同期比共に上回る増益
- (6) 連結子会社が2社増加

# 連結範囲と合併の時期について



# 上期のレビュー (1)

## 【経営施策】

引き続きコスト構造を見直し、販売強化を図る  
 ・既存店家賃の引き下げ交渉上期実績：**合計で年度換算2億3千万円削減**  
 合併に向け、改革のスピードアップ

## 商 品

### 米飯販売強化策

質UP: 原材料や製法にこだわり、おいしさを追求  
 量UP: 発注強化を継続 販売促進費約6億円

→ **結果: 米飯の店あたり前年比はプラス**



### プライベートブランド「KACHIAL」を展開

- ・3月～雑貨
- ・8月末～菓子

↓  
 「ほがら菓たいむ」



## 上期のレビュー (2)

### サービス

4月には全店へ郵便ポストを設置  
7月より電子マネー“Edy”付きの  
ハウスカード「KARUWAZA CLUB」を導入

- ・愛知県、三重県、岐阜県、静岡県、  
北海道の店舗で
- ・8月31日現在、会員数 21,081名



### 店舗開発

出店計画(東北事業部を除く)193店に対して、  
ほぼ計画通りの190店出店

3月高速道路PA内、8月病院内など、  
新しい立地へも出店

「サンクス新名古屋店」



# グループ店舗数

(単位:店)

		2004/8期実績		計 画 (計画差)	
	出 店 数	192		200	-8
	閉 店 数	95		101	-6
本体期末店舗数		5,102	(+251)	5,100	+2
	出 店 数	56		69	-13
	閉 店 数	42		38	+4
エリア期末店舗数		1,161	(-140)	1,181	-20
	出 店 数	248		269	-21
	閉 店 数	137		139	-2
グループ期末店舗数		6,263	(+111)	6,282	-19

(注)1.期末店舗数の( )内数字は2004/2期末比増減です。また6月よりCK東北の154店を本体へ移管しています。  
2.上期実績の本体には合併後6月～8月の東北事業部を、エリアには合併前のCK東北を含めています。

## 連結業績 – 実績と計画の差異

(単位:百万円)

	2004/8期実績	
		前年同期比
チェーン全店売上高	479,534	+4.5%
既存店前年比	0.1%	-
営業総収入	90,417	+3.9%
営業総利益	68,076	+4.1%
販管費	53,865	+1.3%
営業利益	14,210	+16.1%
経常利益	14,186	+30.9%
中間純利益	7,918	+66.5%

計画	(計画差)
477,850	+1,684
-	-
88,680	+1,737
68,600	-524
55,270	-1,405
13,330	+880
12,600	+1,586
6,130	+1,788



# サークルKの業績 - 実績と計画の差異

(単位: 店、百万円)

	2004/8期実績
出店数(うち、リケート)	100 (26)
新店日販(千円)	473
閉店数	46
東北事業部純減数	-8
エリアFC純増数	4
期末店舗数	2,967 (注) (+50)

計画	(計画差)
103 (16)	-3 (+10)
460	+13
55	-9
3	-11
10	-6
2,978	-11

	2004/8期実績	前年同期比
本体売上高	251,379	+3.0%
既存店前年比	1.1%	-
営業総収入	47,606	-1.0%
営業総利益	34,634	+1.7%
平均値入率	28.7%	-0.2%
販管費	26,038	-2.3%
営業利益	8,597	+16.3%
経常利益	8,542	+26.2%
中間純利益	4,852	+44.2%

計画	(計画差)
245,490	+5,889
-0.8%	+1.9%
46,390	+1,216
34,470	+164
29.1%	-0.4%
-	-
-	-
-	-
-	-

(注) 1. 期末店舗数の( )内数字は、2004/2期末比増加です。 2. 業績数値にはCK東北の数値を含んでいません。

# サンクスの業績 - 実績と計画の差異

(単位: 店、百万円)

	2004/8期実績
出店数(うち、リケート)	90 (13)
新店日販(千円)	486
閉店数	42
エリアFC純増数	13
期末店舗数	3,296 (注) (+61)

計画	(計画差)
90 (20)	±0 (-7)
512	-26
42	±0
21	-8
3,304	-8

	2004/8期実績	前年同期比
本体売上高	207,312	+0.8%
既存店前年比	-1.4%	-
営業総収入	36,610	+5.3%
営業総利益	30,770	+3.1%
平均値入率	29.2%	-0.1%
販管費	24,531	+1.8%
営業利益	6,239	+8.8%
経常利益	6,264	+24.9%
中間純利益	3,579	+53.1%

計画	(計画差)
210,820	- 3,508
0.2%	-1.6%
36,350	+260
31,170	- 400
29.6%	-0.4%
-	-
-	-
-	-
-	-

(注) 期末店舗数の( )内数字は、2004/2期末比増加です。

# 連結業績の要因分析 既存店前年比、平均値入率

(単位:百万円)

2004/8期	連 結	前年同期比増減
チェーン全店売上高	479,534	+20,731
既存店前年比	0.1%	-
平均値入率	-	-
営業総収入	90,417	+3,355

サークルK	251,379
東北事業部	9,719
サンクス	207,312
その他連結子会社	11,121

サークルK 1.1%、サンクス -1.4%

サークルK 28.7% (前年同期比 -0.2%)  
サンクス 29.2% (前年同期比 -0.1%)

## チェーン全店売上高207億円増加は...

猛暑の効果でソフトドリンク、冷やし麺などの夏物商品、またタバコを中心に売上は好調  
今期よりサンクス青森(株)とサンクス西埼玉(株)を連結子会社としたため(2社の売上高111億円)

## 既存店前年比の両チェーンの差は...

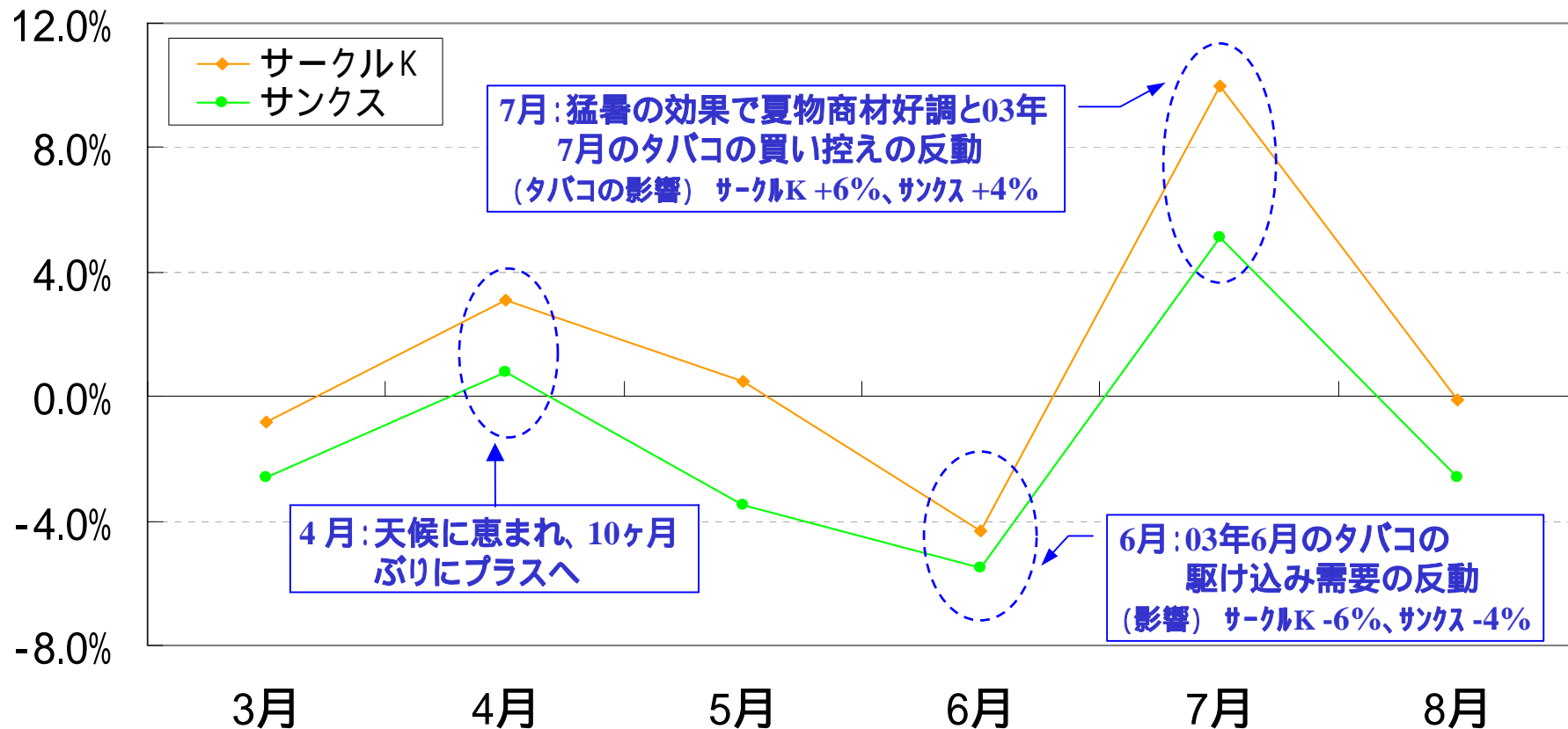
・サンクスは酒の不振をベースに北海道・東北のマイナス幅が大きかった

## 平均値入率が前年同期比サークルK-0.2%、サンクス-0.1%となったのは...

・値入の低いタバコやサービスなどの売上が好調で売上構成比が拡大

タバコの売上構成比:サークルK 17.8% (前年同期比 +1.1%)、サンクス 14.4% (前年同期比 +0.9%)

# 既存店前年比の月次推移



04/8	北海道	東北	関東	中部・北陸	中京三県	関西	中国	全国計
サークルK	-	7.8%	3.7%	2.3%	0.0%	1.6%	6.4%	1.3%
サンクス	-3.4%	-1.9%	-1.0%	-	-0.3%	-2.0%	1.2%	-1.4%

(注) サークルKの6月～8月には、6/1付で合併をした東北事業部(旧C K東北)を含んでいます。

# 連結業績の要因分析 販管費、営業利益

(単位:百万円)

2004/8期	連 結	前年同期比増減
営業総利益	68,076	+2,679
販管費	53,865	+706
人件費	10,485	+905
広告費・販売促進費	6,923	+1,466
地代家賃	17,460	+599
設備リース料	5,598	+326
その他	13,398	-2,585
営業利益	14,210	+1,972

・販管費は前年同期比7億円増加

新たな連結子会社2社分で12億円増加

販売促進費:米飯強化策 約6億円

・しかし、その他では経費の節減に努め、計画比では14億円マイナス

・営業利益19億円増加

売上の好調に加え、販管費が節減され、計画比14億円減少となったため

# 連結業績の要因分析 経常利益、中間純利益

(単位:百万円)

2004/8期	連 結	前年同期比増減
営業利益	14,210	+1,972
営業外収益	612	+175
営業外費用	637	-1,201
経常利益	14,186	+3,350
特別利益	142	+104
特別損失	784	-1,060
中間純利益	7,918	+3,161

## ・経常利益33億円増加

今期閉店が例年並となったことで、営業外費用のうち、閉店に伴う解約損害金が前年同期比11億円減少

## ・中間純利益31億円増加

特別損失が10億円減少  
(うち、閉店に伴うリース解約損3億減少)

税効果会計における繰延税金資産の回収可能性の見直しにより、法人税等の負担が軽減されたため

# 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2003/8期	2004/8期	前年同期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,269	23,878	+609
投資活動によるキャッシュ・フロー	-4,355	-6,868	-2,513
配当金の支払額	-1,378	-1,378	± 0
フリーキャッシュ・フロー	17,536	15,632	-1,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	-1,932	-2,408	-476
現金及び現金同等物の増加額	16,981	14,600	-2,381

投資活動によるキャッシュフローは前年同期比25億円減少  
前期の不採算店の整理が一段落し、今期は投資が増えているため

フリーキャッシュフローは前年同期比19億円減少

# エリアフランチャイザー(エリアFC)の状況

## (1) エリアフランチャイザー(エリアFC)の業績

(単位:店、百万円)

	2004/8期				エリアライセンスフィー
	期末店舗数	売上高	前年同期比	既存店前年比	
サークルKのエリアFC	113	14,140	n.a.	n.a.	86
サンクスのエリアFC 13社合計	1,048	91,484	4.7%	0.4%	1,570
<b>合計</b>	<b>1,161</b>	<b>105,624</b>	<b>n.a.</b>	<b>n.a.</b>	<b>1,656</b>

(注)サークルKのエリアFCには合併前の3月～5月のシーケー東北株を含んでいます。

## (2) 連結子会社2社の損益状況

サンクス青森株).....(04/8期)経常利益 41百万円


サンクス西埼玉株)...(04/8期)経常利益 80百万円

連結子会社であったシーケー東北株は、6月1日付けでサークルケイ・ジャパン株に吸収合併されました。



## 下期の取り組み

9月1日、グループ3社の合併でサークルKサンクスが誕生

- 合併による規模の利益・合理化利益の追求
- **WA<sup>K</sup>U WA<sup>KU</sup>?** できる店舗作り 

**「顧客起点志向」のもとお客様の立場に立った品揃え、売場作り、接客を実行**

・安心・安全で魅力的な商品の提供

サークルKでも10月5日より、米飯・調理パン・惣菜・調理麺で保存料・合成着色料撤廃  
高品質で環境にも配慮したプライベートブランド「KACHIAL」を雑貨に続き、菓子でも展開

・決済手段拡大で利便性の高いサービスの提供 9月より、クレジットカード決済開始

・接客サービスの強化 加盟店も一体になって「WAKUWAKU」に向け始動

**【開発】 採算重視を重視し、競争に勝ち残れる質の高い店舗開発を継続**

・それぞれの重点地区(サークルK:名古屋市、愛知県東部、サンクス:東京都心部)への出店とリロケートを強化し、通期出店計画400店達成へ

# 2005/2期出店計画

(単位:店)

	上期実績			2005/2 通期計画 (下段:下期計画)		
	サークルK	サンクス	合計	サークルK	サンクス	合計
出店数	102	90	192	215 (113)	185 (95)	400 (208)
閉店数	53	42	95	140 (87)	83 (41)	223 (128)
<b>本体期末店舗数</b>	<b>2,854</b>	<b>2,248</b>	<b>5,102</b>	<b>2,880</b>	<b>2,302</b>	<b>5,182</b>
出店数	11	45	56	26 (15)	102 (57)	128 (72)
閉店数	10	32	42	11 (1)	58 (26)	69 (27)
<b>エリア期末店舗数</b>	<b>113</b>	<b>1,048</b>	<b>1,161</b>	<b>127</b>	<b>1,079</b>	<b>1,206</b>
出店数	113	135	248	241 (128)	287 (152)	528 (280)
閉店数	63	74	137	151 (88)	141 (67)	292 (155)
<b>グループ期末店舗数</b>	<b>2,967</b>	<b>3,296</b>	<b>6,263</b>	<b>3,007</b>	<b>3,381</b>	<b>6,388</b>

(注) 1. 上期実績の本体には合併後6月～8月の東北事業部(出店2店、閉店7店)を、エリアには合併前のCK東北(出店5店、閉店8店)を含めています。

2. 通期計画の本体には合併後6月～2月の東北事業部(出店10店、閉店20店)を含めています。

# 2005/2期連結業績予想

(単位:百万円)

	上期実績			2005/2期通期 サークルKサンクス連結	
	サークルK	サンクス	C&S連結		前期比
チェーン全店売上高	251,379	207,312	479,534	940,130	4.2%
既存店前年比	1.1%	-1.4%	0.1%	-	-
平均値入率	28.7%	29.2%	-	-	-
営業総収入	47,606	36,610	90,417	176,650	4.2%
営業総利益	34,634	30,770	68,076	133,610	4.6%
販管費	26,038	24,531	53,865	109,340	3.8%
営業利益	8,597	6,239	14,210	24,270	8.2%
経常利益	8,542	6,264	14,186	23,210	17.8%
当期(中間)純利益	4,852	3,579	7,918	12,580	64.4%

【既存店前年比】  
サークルK 0.0%  
サンクス -1.8%

期首の計画は  
それぞれ -1.0%

【平均値入率】  
サークルK 28.7%  
サンクス 29.2%

期首の計画より  
それぞれ -0.2%  
下方修正

(注)上記にはCK東北の数値を含んでいません。

# 合併による統合効果と 新3ヵ年計画について

代表取締役社長 土方 清

## 合併の目的

2004年9月1日、グループ3社の合併により



株式会社 サークルKサンクス 誕生！

【合併の目的】 合併による組織の一体化により...

意思決定の迅速化

コミュニケーションの一層の円滑化

～「競争は一人では勝てない。勝つのはチームだ。」

統合化の推進による規模の利益、合理化利益の追求

重複コストの削減

# サークルKサンクスの経営理念と経営戦略

## サークルKサンクス 経営理念

わたしたちは、社会に信頼され、  
成長し続ける企業をめざします。

## 経営戦略 - 改革のシナリオ

- ・マーケティングイノベーション
- ・投資・資金効率重視の経営体制
- ・遵法精神重視の経営体制
- ・新人事制度の構築
- ・業務プロセスの一本化
- ・無駄の排除と固定費削減
- ・エリアFCの育成と経営管理
- ・新事業、新業態開発

サークルKサンクスは持続的安定成長企業を目指します。

## 3カ年計画を達成するためのポイント

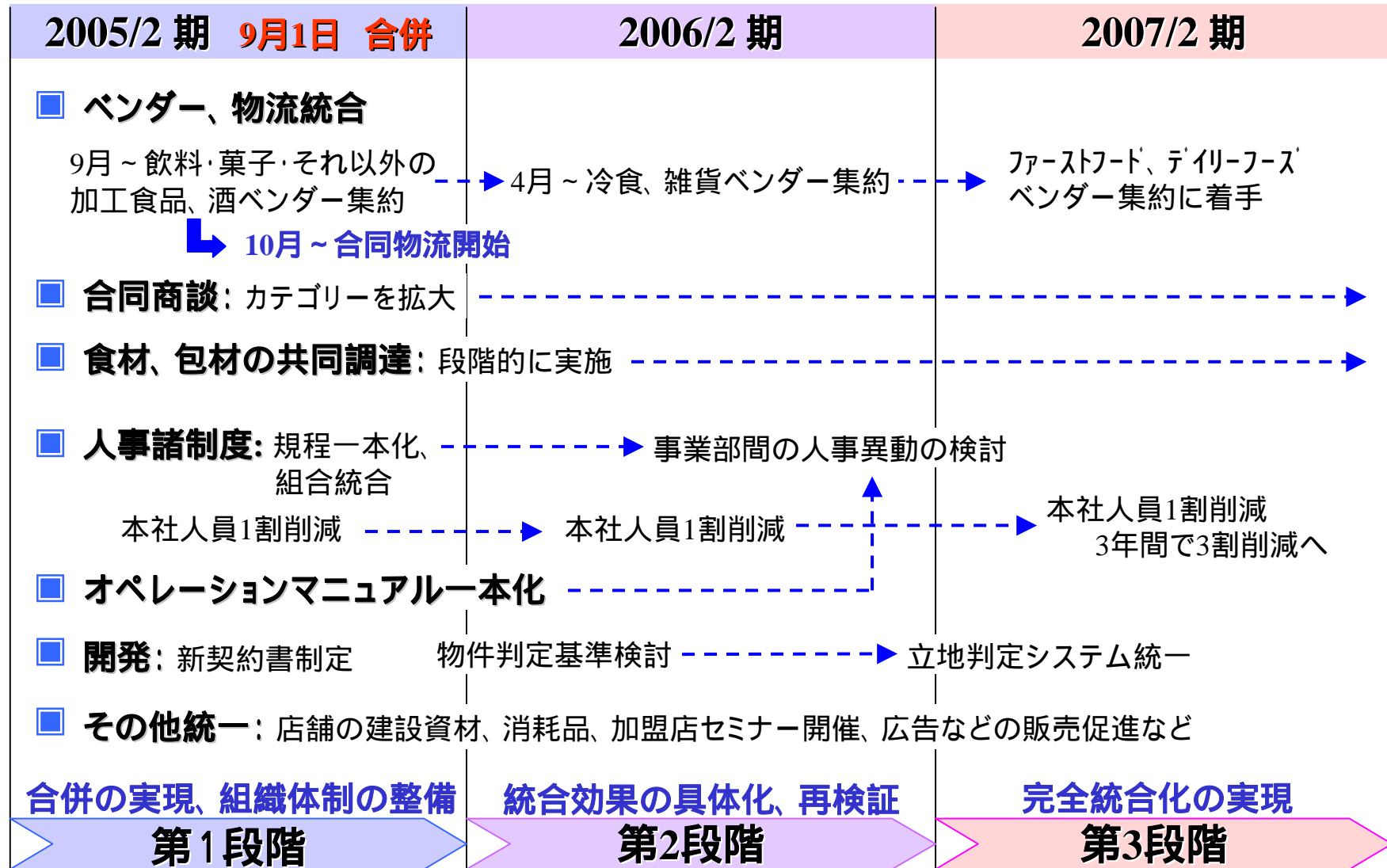
---

### ■ ローコスト経営の徹底と収益構造の改革を推進し、 効率的な店舗・本部運営の実現

- ・本社スタッフを営業部門へシフトさせ人員削減
- ・ベンダー・物流集約を段階的に実施し、荒利向上へ
- ・食材や包材の共同調達を段階的に実施
- ・あらゆる面で重複しているものを統合し、コスト削減を図る
- ・安心・安全でおいしい商品、「ワクワク」するような魅力的な商品開発
- ・6000店のチェーン規模を活かしたサービスの強化
- ・新規事業への挑戦

### ■ 2007年2月期までに すべての業務プロセスの一本化の実現

# 業務プロセス完全一本化までのスケジュール





# 目指すべき統合効果

## 3カ年で見込まれる統合効果

- 人件費負担減: 約 7億円
- ベンダー・物流統合: 約 16億円
- 間接業務統合: 約 7億円



取扱い高増加による  
取引条件改善



今期4つのカテゴリー  
から共同配送を開始



配送の効率化に  
よる条件改善



取引量及び食材共同  
調達取扱い高の拡大

中期的に値入率0.5%の改善 (1店あたり約80万円の荒利改善)

## 新3ヵ年計画(連結業績目標)

(単位:店、百万円)

		2005/2期		2006/2期		2007/2期	
			前期比		前期比		前期比
出店		417	n.a.	436	+19	449	+13
	閉店	238	n.a.	213	-25	230	+17
期末店舗数		5,326	n.a.	5,549	+223	5,768	+219
チェーン全店売上高		940,130	+4.2%	973,200	+3.5%	1,007,150	+3.5%
既存店前年比	サークルK	0.0%	-	-1.0%	-	-1.5%	-
	サンクス	-1.8%	-	-2.0%	-	-2.0%	-
平均値入率	サークルK	28.7%	±0.0%	28.9%	+0.15%	29.1%	+0.25%
	サンクス	29.2%	+0.1%	29.4%	+0.15%	29.6%	+0.25%
営業利益		24,270	+8.2%	27,370	+12.8%	30,380	+11.0%
経常利益		23,210	+17.8%	25,800	+11.2%	28,550	+10.7%
当期純利益		12,580	+64.4%	14,210	+13.0%	15,750	+10.8%

## 株主還元の方針

### 連結当期純利益の20%を配当として還元する方針

- 配当性向の目標: 将来的には30%に高める

### 期末配当金は4円(記念配当2円を含む)増配

- 合併交付金(中間配当相当額): 1株当たり16円
- 期末配当金: 1株当たり20円の予定 **4円増配**(うち、2円は記念配当)  
→ 年間配当金 36円、配当性向 24.7%

### 株主優待制度を継続

- 8月中間期末、2月期末の年2回「お買物カード」を贈呈
  - ・ 100株以上: 500円 2枚(×2 = 年 2,000円相当額)
  - ・ 500株以上: 500円 5枚(×2 = 年 5,000円相当額)
  - ・ 1,000株以上: 500円 10枚(×2 = 年10,000円相当額)

**本資料には発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予想を含んだ内容を記載しております。**

**実際の業績は今後様々な要因によってこれらの予想とは異なる可能性があります。**